

ありがとう！堀川幼稚園

129年の歴史に幕を閉じる

堀川幼

本園は平成28年3月31日に幕を閉じ、閉園いたしました。明治19年に創設された、それ以降129年の間に1万1

組んできました。少人数のため、人との関わりが少なくならないようにと、いろいろな人

さまさまな場面で運動会を盛り上げてくださったいます。フィナーレには参加者全員で『大阪元氣音頭』を踊り、楽しい1日を過ごすことができました。みんなの笑顔や温かい気持ちがあふれた、す

てきな運動会となり本当に良かったです。また、3月5日の閉園記念式典では、たくさんのお客様にきていただき、129年の歴史の重みを感じることができました。堀川幼稚園の園舎はな

くなってしまうですが、幼稚園の思い出は記念碑とともに、皆さんの心の中にいつまでも残しておいていただきたいと思います。129年間、「ありがとう 堀川幼稚園」(井上貴代美)



閉園記念式典で思い出を語る園児たち

最後の1年間、年長5歳児クラス24人でした。が、「最後まで楽しい堀川幼稚園」を合言葉に、教職員・保護者・地域の方々が一緒に子どもたちのために、さまざまなることに取り

組んできました。少人数のため、人との関わりが少なくならないようにと、いろいろな人との交流をしました。併設の堀川小学校とは年間を通して交流活動をし、小学生に憧れの気持ちをもち、進学を楽しみにしていました。また菅南・滝川幼稚園や近くの保育園の子どもたちとも一緒に遊び、「今度はいつ会えるかな？」と仲良く交流を楽しみました。

最後の運動会では「子どもたちの心に残る運動会にしよう！」と、地域の方や併設小学校の先生たちがたくさん駆けつけてくださいました。運動会の手伝いや競技参加、子どもたちの頑張りの声、惜しみのない拍手など、

子どもたちは、5年生の2月に6年生に教わりながら、太夫・三味線・人形遣いの各パートでの練習を始めます。6年生になると、国立文楽劇場技芸員の桐竹勘十郎先生、豊竹咲甫太夫先生、鶴澤清道先生、鶴澤清公先生にご指導いただきました。

技芸員の方々は、文楽劇場での公演日にお越しくださいることが多く、謝意を表して茶菓のお接待をしますが、併せて子どもたちの練習風景の参観ができるのが楽しみです。発表会で着用する衣装の着付けのお手伝いもします。そのために、発表会当日までに数回着付けの練習をします。当日は張り切っている我が子



楽学習

りー



披露する子どもたち

そこで、子ども文楽学習の設置の経緯や概要、活動の一端を紹介いたします。

子ども文楽学習は、平成13年度「大阪市学校活性化事業」により始まりました。『高津は19世紀文楽の黄金期を築いた』

楽しかった！」は何よりのプレゼント

引き、4年生は二人三脚、5年生は林間学習のビデオ鑑賞と変則玉入れ、6年生は三人四脚を実施しました。



で、応援にも熱がこもった白熱した対戦になりました。クラスの先生への声援も時には厳しく熱いものであったと思います。